

「エコテックス(CSM®-2000) 標準研究フォーラム」

ニュース 23

発行：「エコテックス(CSM®-2000)標準研究フォーラム」 広報委員会
〒105-0003 東京都港区西新橋 1-14-7 山形ビル3階
TEL 03(3504)9800 FAX 03(5157)3180

2005年
10月14日発

E-mail eco-texj@k9.dion.ne.jp

HP: <http://www.eco-texj.co.jp>

秋冷の候、貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

1. フォーラム：セミナー

9月30日に開催した第19回セミナーの内容は概略以下の通りです。

岡本会長ご挨拶のあと

① CSRに関する情報

多数の資料を基に、多くの日本企業がCSRの重要性を認識し、真剣に取り組んでいる現状を報告しました。

② 会員様のコンプライアンス及び各種マネジメントシステム認証に関する取り組み事例 2社

大貫繊維様、オルガン針様より会社紹介に続いて、取組まれているシステムに関して、導入目的・導入経緯・導入効果等の現状を公開いただきました。

③ 監査の立場から見たCSM-2000システム の報告が行なわれました。

世界を代表する認証・監査機構であるTUVラインランドジャパン様より、CSM-2000システムに関し以下の視点から報告いただきました。

- ・ CSM-2000実施の利点
- ・ 認証プロセス
- ・ 監査ツールと監査プロセス
- ・ 成功例
- ・ 落とし穴と欠点
- ・ 結論
 - a. CSM2000は価値ある管理ツールである
 - b. 統合の仕組みで品質、社会問題、労働安全、環境に関する利害関係者の期待を満たす
 - c. 遵守管理、安定した運用の強化
 - d. 指針やチェックリストにより効果的なシステム構築のため不明瞭点を低減
 - e. プロセス・アプローチに沿った柔軟で効率的な評価制度

第20回セミナーを11月18日金曜日14時より開催します。

本年度セミナーの主要テーマである「CSM-2000 要求項目に対する、導入レベルでの実施方策」について具体的な解説をエコテック・ジャパン保有のノウハウを公開するカタチで行ないます。今回はその第1回目となります。ご期待ください。

また、「会員様のコンプライアンス及び各種マネジメントシステム認証に関する取り組み」事例報告として、東レ様、エドウィン様をお願いしております。

前回よりセミナー内容を一新しより充実した企画といたしました。
是非、スケジュールを調整いただき、ご参加いただけるようお願い申し上げます。

準備の都合もありますので、遅くとも11月10日までにご出席いただける方のお名前お知らせください。ご協力をお願いいたします。

なお、今回よりご参加いただく方のお名前をメール又はファックスでいただきたく、書式を設定いたしました（添付資料）。ご面倒でも、ご記入のうえご提出ください。

2. フォーラム：研究評価委員会

次回セミナー開催時、11月18日金曜日12時より研究評価委員会を開催します。今回は先般、研究評価委員会の皆様で起案・審議いただき、会員各位にご検討お願いしております、「エコテックス(CSM®-2000)標準研究フォーラム」に関するアンケートの結果をご審議いただき、今後のセミナー運営方法を会員各位及び事務局ご提案いただきますようお願いいたします。

勝手なお願いですが、委員各位には、11月10日前後に事務局よりアンケートの集計結果をメールでお届けいたしますので、事前にお考えをまとめていただき、効率的な会議進行をお願いいたします。

なお、「エコテックス(CSM®-2000)標準研究フォーラム」に関するアンケートを**未提出**の方は、できるだけ早い時期に事務局までご回答をお送りいただきますよう重ねてお願いいたします。